

ISSN 1882-5230

むかわ町立
穂別博物館館報

第31号

平成25（2013）年度版

むかわ町立穂別博物館

目 次

沿革	----- (p. 1)
施設の概要	----- (p. 4)
施設平面図	----- (p. 4)
展示活動	----- (p. 5)
広報活動	----- (p. 6)
普及教育活動	----- (p. 10)
収蔵資料概要	----- (p. 13)
資料収集保存活動	----- (p. 13)
調査研究活動ほか	----- (p. 16)
運営	----- (p. 19)

沿革

当館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設された。

穂別町立博物館は昭和 50(1975) 年の長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本の発見が契機となり建設された。当初は「穂別町郷土資料館」として計画され、建設計画中に「穂別町立博物館」として名称変更された。名称変更後の館活動は「本町で発見される化石（自然史）」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文）」の保存・普及を行う二面性を備えた総合博物館としてのものであった。

その後、約 10 年にわたる博物館活動の結果蓄積された自然史資料の重要性と、人文系資料の保存活動に要する作業量にアンバランスを生じ、活動方針の変更が行われた。その基本活動方針は、「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」である。ここではその経緯を記録し、今後の活動の充実と強化につとめていきたい。

I 「建設の目的」と「展示更新」、「名称変更」

〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスマスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町 70 年（町制施行 20 年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

<昭和 55(1980) 年 11 月 26 日>

〈展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見られることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の 1 頁 1 頁であることを理解させる博物館とする。』

<平成 2(1990) 年 6 月 27 日>

〈市町村合併による名称変更〉

平成 18(2006) 年 3 月 27 日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM- : HOBETSU MUSEUM の略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町立穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

Ⅱ 沿革

*本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。

・長頸竜：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式名称。

・首長竜：「発掘調査団」の固有名称として使用。

・クビナガリュウ：長頸竜の通称として使用。

・ホベツアラキリュウ：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された長頸竜標本の名称。

*名称等は、当時のまま表記してある。

昭和 50(1975) 年

6月：荒木新太郎氏（穂別町在住）が穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部を採集した。

昭和 51(1976) 年

9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）が荒木氏発見の脊椎動物化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定を依頼した。

昭和 52(1977) 年

2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道された。荒木氏発見の脊椎動物化石が白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部であると確認された。

7月5-8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。この長頸竜標本を後に「ホベツアラキリュウ」と命名。

昭和 53(1978) 年

5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始

11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

昭和 54(1979) 年

5月：長頸竜化石骨が穂別町指定文化財第2号に指定される。

昭和 55(1980) 年

10月16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

昭和 56(1981) 年

3月13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

昭和 56(1981) 年

7月-12月：博物館建設工事

9月1日：鈴木茂学芸員就任（-昭和60年3月31日）

昭和 57(1982) 年

1月16日：長頸竜復元作業開始

3月-6月：博物館展示工事

7月20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）

8月26日：「博物館協議会」発足

11月1日：北海道博物館協会加入

12月19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開

12月19日-1月23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

昭和 58(1983) 年

3月2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）

3月28日：「博物館協力会」設立

4月1日：日本博物館協会加入

4月28日：菅原康次（第二代）館長就任

7月22日-8月7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」

8月1日：全国科学博物館協議会加入

11月1日-3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

昭和 59(1984) 年

2月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊

3月27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始

6月14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成

11月1日-4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」

12月1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

昭和 60(1985) 年

3月30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始

5月1日：地徳力学芸員就任（-平成11年3月31日）

11月1日-10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

昭和 61(1986) 年

10月21日-11月9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

昭和 62(1987) 年

1月1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）

7月28日-8月9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

昭和 63(1988) 年

7月17日：第三展示室（保存庫）完成

8月23日-9月4日：特別展（第5回）「穂別のカメ化石」

10月6日：今幸太郎（第五代）館長就任（専任）

平成元(1989) 年

6月30日：仲谷英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表

7月18日-8月20日：特別展（第6回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」

9月29日-10月6日：地徳学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣した。

平成 2(1990) 年

7月23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館

8月18日-9月16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」

9月3日-5日：レイド、M.G.氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館

12月31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

平成 3(1991) 年

4月1日：佐藤稔（第七代）館長就任

4月28日、29日：入館者10万人突破記念事業

平成 4(1992) 年

2月1日：展示更新工事開始

4月23日-25日：カリ、P. J.氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館

4月29日：展示更新完了、一般公開再開

平成 6(1994) 年

4月1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）

4月1日：川上源太郎学芸員就任（-平成10年3月31日）

平成 7(1995) 年

- 7月15日-9月12日:川上学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣、研修。
- 8月12日:かせき学習館完成
- 平成8(1996)年
- 7月27日-28日:96北海道化石サミット開催(穂別町民センター)
- 10月6日:大江美津夫(第九代)館長就任
- 平成9(1997)年
- 7月6日、7月10日-8月31日:クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展(第8回特別展)
- 平成10(1998)年
- 4月1日:櫻井和彦学芸員就任(-現在)
- 6月11日:星功(第十代)館長就任
- 8月11日-8月31日:特別展(第9回)「地球物語り(地質学普及書の近代史)」
- 平成11(1999)年
- 1月1日:山田正(第十一代)館長就任
- 5月29日:入館者30万人突破記念事業
- 8月1日-8月31日:特別展(第10回)「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」
- 10月5日-11月28日:特別展(第11回)「穂別の自然」
- 平成12(2000)年
- 8月1日-8月31日、9月14日-10月1日:特別展(第12回)「穂別の石-川原の石から見た穂別」
- 9月14日-10月1日:日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
- 平成13(2001)年
- 8月1日-8月25日:特別展(第13回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」
- 平成14(2002)年
- 4月28日-5月17日:特別展(第14回)「ツノのある奇妙なカメ-海の穂別からリクガメ化石の発見-」
- 7月1日-21日:特別展(第15回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」(再公開)
- 7月20日:開館20周年記念講演・討論会「化石の里(まち)の博物館」
- 7月27日-8月9日:博物館協力会企画展「穂別の化石」
- 8月31日-9月27日:特別展(第16回)「穂別のカメ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」
- 平成15(2003)年
- 1月1日:清川博之(第十二代)館長就任
- 7月20日-8月31日:特別展(第17回)「穂別を泳いだモササウルス」
- 11月1日-1月31日:特別展(第18回)「虫と暮らし」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成16(2004)年
- 7月17日-8月31日:特別展(第19回)「クジラとデスマスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
- 10月30日-12月12日:特別展(第20回)「火山と地震-佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
- 平成17(2005)年
- 7月16日-8月31日:特別展(第21回)「ホベツアラキリュウ発見30年」
- 10月29日-12月18日:特別展(第22回)「絵はがきは語る-旅の思い出・昔のまちなみ-」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成18(2006)年
- 3月27日:「むかわ町」誕生(穂別町・鶴川町の合併による)、当館の名称を「むかわ町立穂別博物館」と改称
- 3月27日:本多廣行(第十三代)館長就任
- 7月15日-9月3日:特別展(第23回)「貝が語るむかわの一億年」
- 10月28日-12月17日:特別展(第24回)「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」
- 平成19(2007)年
- 4月1日:柏恵一(第十四代)館長就任
- 7月21日-9月2日:特別展(第25回)「むかわの一億年-化石や石が語る五つの海」
- 11月3日-12月2日:特別展(第26回)「鉱業のまち、ほべつ-穂別の炭鉱と鉱山の歴史-」
- 平成20(2008)年
- 7月19日-8月31日:特別展(第27回)「海へ帰った動物たち-穂別のセキツイ動物の秘密-」
- 11月1日-12月7日:特別展(第28回)「穂別D遺跡-一万年前の人々の暮らし-」
- 平成21(2009)年
- 7月18日-9月30日:特別展(第29回)「穂別海竜博物館-穂別を泳いでいた海竜たち-」
- 平成22(2010)年
- 2月6日-5月30日:特別展(第30回)「北海道アンモナイト図鑑」
- 7月17日-10月31日:特別展(第31回)「白亜紀ウミガメ化石展」
- 平成23(2011)年
- 3月19日-5月29日:特別展(第32回)「白亜紀巨大二枚貝 イノセラムス・ホベツエンシス展」
- 4月1日:今莊光男(第十五代)館長就任
- 7月23日~10月30日:特別展(第33回)「歯のかたち-クビナガリュウ vs モササウルス-」
- 12月3日:「モササウルス国際シンポジウム」
- 平成24(2012)年
- 4月-平成25(2013)年3月:穂別産恐竜化石発掘調査書類申請準備
- 12月25日-平成25(2013)年3月6日:むかわ町モササウルス類化石複製品作成委託
- 平成25(2013)年
- 4月1日:阿部勉(第十六代)館長就任
- 4月1日:西村智弘学芸員(嘱託)就任(平成21年~平成24年度 普及員)
- 9月2日-10月5日:穂別産恐竜化石発掘調査(第一次発掘)

施設の概要

【位 置】

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

平成 21 年度：展示映像機器整備

「太古の海－クビナガリュウからのメッセージ」

事業費：4,116,000 円（消費税込）

【町立博物館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m²

常設展示室	372.88m ²
特別展示室	99.08m ²
収蔵庫	86.56m ²
事務室	40.50m ²
研究室	31.50m ²
整理室	29.92m ²
学習展示室	184.75m ²
書庫	35.05m ²
共用部門	219.76m ²

〔工 期〕

昭和 56 年度～ 57 年度

〔総事業費〕

362,165,000 円

〔展示更新〕

平成 3 年度～平成 4 年度：博物館展示替え工事

事業費：99,910,000 円（消費税込）

平成 5 年度：マルチスライドイメージソフト制作

事業費：6,890,700 円（消費税込）

【かせき学習館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m²

事務室	56.70m ²
作業室	56.70m ²
書庫	14.04m ²
レプリカ室	12.15m ²
処理室	12.15m ²
展示物保管庫	162.00m ²
共用部門	12.15m ²

〔工 期〕

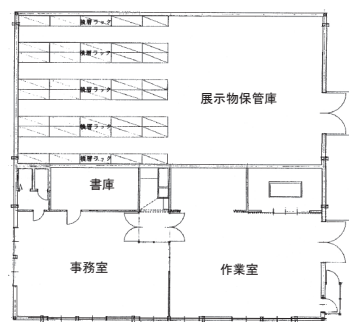
平成 7 年度

〔総事業費〕

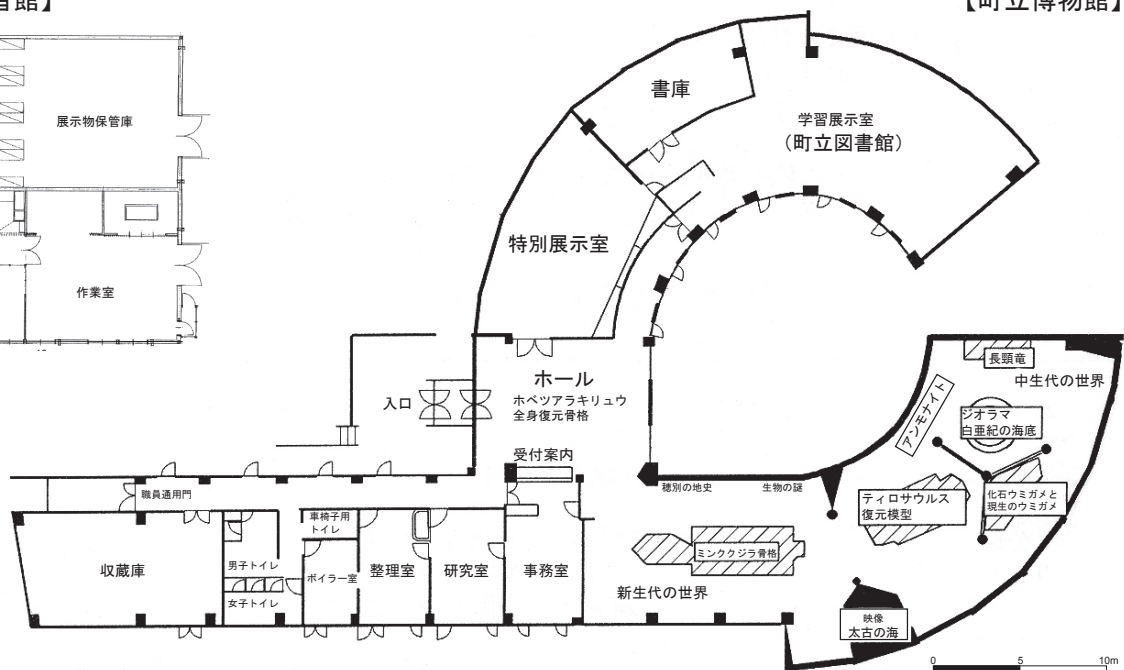
57,092,900 円（消費税込み）

施設平面図

【かせき学習館】



【町立博物館】



展示活動

I 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

【常設展示の変更】

モササウルス穂別第 10 標本を常設展に追加

ゴードリセラス・ホベツエンゼ *Gaudryceras hobetsense* (HMG-1573) を常設展に追加

フィロプチコセラス・ホリタイ *Phylloptychoceras horitai* (HMG-1578a-d) を常設展に追加

ロンギベルス・マツモトイ *Longibelus matsumotoi* (HMG-1532) を常設展に追加

【常設展示資料】

種別	分類		点数				
化石	中生代	脊椎動物	魚類	10	238		
			爬虫類 (長頸竜 13 ^{**} 、モササウルス 13 ^{**} 、カメ 7、他 2)	35		45	
		軟体動物	頭足類 106、腹足類 9、斧足類 45、掘足類 1	161			
		その他動物	節足動物 7、棘皮動物 6、刺胞動物 3	16			
		植物		14			
		生痕	2				
	新生代	脊椎動物	魚類	4		92	
			哺乳類 (クジラ 9、束柱類 2 ^{**} 、他 9 ^{**})	20			24
		軟体動物	腹足類 25、斧足類 27、掘足類 4	56			
		その他動物	節足動物 3、棘皮動物 1	4			
植物			8				
現生生物	脊椎動物	爬虫類 (カメ)	3	19			
		哺乳類 (クジラ 5、他 3)	8		11		
	軟体動物	頭足類 2	2				
	その他動物	節足動物 1、棘皮動物 2、刺胞動物 2	5				
	植物		1				
岩石・鉱物			29				
復元模型	脊椎動物	爬虫類 3 (長頸竜 1、モササウルス 1、ウミガメ 1)、哺乳類 1	4				
その他	その他模型 3、映像 4		7				
合計			389				

(2014年3月31日現在) ※レプリカ含む

II 特別展示

平成 25 年度はミニ展示を実施 (詳細は「普及教育活動 I 博物館事業」を参照)。

- (1) ミニ展示「新種 白亜紀アンモナイト ゴードリセラス・ホベツエンゼ」
平成 25(2013) 年 4 月 27 日 - 6 月 30 日
- (2) ミニ展示「新種 白亜紀異常巻きアンモナイト フィロプチコセラス・ホリタイ」
平成 25(2013) 年 7 月 2 日 - 9 月 29 日
- (3) ミニ展示「発見!! 残りを発掘!!!! 穂別産ハドロサウルス科恐竜化石」
第一期 平成 25(2013) 年 7 月 17 日 - 12 月 1 日
第二期 平成 25(2013) 年 12 月 19 日 - 平成 26(2014) 年 4 月 6 日
- (4) ミニ展示「白亜紀鞘形類ロンギベルス・マツモトイ」
平成 25(2013) 年 10 月 1 日 - 12 月 1 日

Ⅲ 年間入館者数

(単位：人)

分類	平成 21 年度 (2009)	平成 22 年度 (2010)	平成 23 年度 (2011)	平成 24 年度 (2012)	平成 25 年度 (2013)	
個人	一般	6,225	6,295	5,853	5,491	6,483
	学生	2,709	2,727	2,415	2,050	2,527
団体	一般	524	450	669	808	525
	学生	784	715	1,045	767	559
計	10,242	10,187	9,982	9,116	10,307	
幼児	1,373	1,537	1,508	1,375	1,583	
合計	11,615	11,724	11,490	10,491	11,890	

個人：割引入館者（穂別地球体験館との共通利用割引）と無料入館者（特定入館日、減免等）を含む。

団体：10名以上、一般：高校生より上、学生：小学生～高校生、幼児：小学生未満（無料）

広報活動

I 博物館広報活動

【ホッピーだより（博物館広報紙）】

A4版両面。博物館からのお知らせ、行事予定を掲載。ホームページで公開し、町内の公共施設や学校等へ配布。

341号く平成25(2013)年4月く：白亜紀アンモナイト
タナベセラスの研究発表 / クビナガリュウ新
規標本の研究発表

342号く平成25(2013)年5月く：新種アンモナイト
ゴードリセラス・ホベツエンゼを発表 / ミニ展
示・普及講演会のお知らせ

343号く平成25(2013)年6月く：平成24年度の寄贈
資料 / 博物館の収蔵資料の紹介⑧ 首が短いク
ビナガリュウ；ポリコティルス類

344号く平成25(2013)年7月く：フィロプチコセラス・
ホリタイを発表 日本および北西太平洋地域から初
めてのフィロプチコセラス属の産出記録 / 普及
講演会(6/2)実施報告

345号く平成25(2013)年8月く：ハドロサウルス科恐
竜を発見!! 追加の発掘調査を9月から開始 /
ミニ展示「発見!! 残りを発掘!!!! 穂別産ハ
ドロサウルス科恐竜化石」の紹介

346号く平成25(2013)年9月く：鞘形類の話 - 鞘形
類とは -

347号く平成25(2013)年10月く：鞘形類の話 - 現
生のイカにつながるグループの進化を解明 - /
ミニ展示「白亜紀鞘形類ロンギベルス・マツモトイ」
の紹介

348号く平成25(2013)年11月く：穂別恐竜化石発掘
2013年報告① / 博物館収蔵資料の紹介⑨ 首
が短いクビナガリュウ；ポリコティルス類②

349号く平成25(2013)年12月く：穂別恐竜化石発掘

2013年報告②

350号く平成26(2014)年1月く：穂別恐竜化石発掘
2013年報告③ / 2013年の調査研究などでの利
用

351号く平成26(2014)年2月く：博物館収蔵資料の紹
介⑩ 首が短いクビナガリュウ；ポリコティルス類
③

352号く平成26(2014)年3月く：穂別恐竜化石発掘報
告④

【博物館ホームページ】

ホッピーだよりを中心に更新した。

アドレス <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

【むかわ町立穂別博物館ブログ】

行事予定など随時更新した。

アドレス <http://pomu.town.mukawa.lg.jp/module/1550.htm>
#moduleid1550（むかわ町ポータルサイトPOMU内）

II 報道関係

【穂別産恐竜化石】

※以下に記した以外にもインターネットで多数配信された

(1) 平成25(2013)年7月17日 報道会見(第1回)

会場：穂別町民センター2F つつじホール

内容：恐竜化石の発見報告と発掘調査の告知
説明者

北海道大学総合博物館：小林快次准教授

発見者：堀田良幸

むかわ町：木澤省司教育長、山岡康伸穂別総合支

所長、阿部勉穂別博物館長、櫻井和彦学芸員、

西村智弘学芸員、下山正美学芸補助員

参加者（報道機関11社・12名、その他1名）

新聞社：北海道新聞社、苫小牧民報社、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、室蘭民報社
テレビ局：NHK 日本放送協会、HTB 北海道テレビ放送、STV 札幌テレビ放送、HBC 北海道放送、TVh テレビ北海道
その他：広報むかわ担当者
当日午後に博物館にて対応：UHB 北海道文化放送

①新聞記事

平成 25(2013) 年 7 月

- 17 日：北海道新聞(夕／第 1 面)、苫小牧民報(第 1 面、第 2 面)、朝日新聞(夕／第 8 面：全国面)
- 18 日：北海道新聞(朝／第 29 面：苫小牧・日高面)、苫小牧民報、室蘭民報(朝／第 1 面、第 17 面)、朝日新聞(朝／第 27 面：北海道面)、読売新聞(朝／第 33 面：北海道面)、毎日新聞(朝／第 29 面：全国面・北海道面)
- 19 日：北海道新聞(朝／第 32 面：北海道面)、苫小牧民報(第 1 面コラム)

②テレビ報道

平成 25(2013) 年 7 月

- 17 日：STV「どさんこワイド 179」(18:15～1 分間程度)、UHB「スーパーニュース U」(18:15～2 分間程度)、NHK「ネットワークニュース北海道」(18:16～2 分間程度)、HTB「イチオシ!」(18:20～2 分間程度)、HBC「北海道 NEWS 1 & N スタ」(18:20～3 分間程度)

(2) 平成 25(2013) 年 9 月 5 日 報道会見(第 2 回)

会場：発掘現場

内容：第一次発掘の開始

説明者

北海道大学総合博物館：小林快次准教授

むかわ町：櫻井和彦学芸員、西村智弘学芸員

参加者(報道機関 11 社・17 名、その他 1 名)

新聞社：北海道新聞社、苫小牧民報社、朝日新聞社、読売新聞社、室蘭民報社

テレビ局：NHK 日本放送協会札幌放送局、同・苫小牧放送局、HTB 北海道テレビ放送、STV 札幌テレビ放送、TVh テレビ北海道、UHB 北海道文化放送

その他：共同通信社、むかわ町観光協会

①新聞記事

平成 25(2013) 年 9 月

- 6 日：北海道新聞(朝／第 29 面：苫小牧・日高面)、苫小牧民報(第 1 面)、室蘭民報(朝／第 15 面)
- 7 日：読売新聞(朝／第 33 面：道南面)
- 8 日：朝日新聞(朝／第 27 面：北海道面)
- 12 日：苫小牧民報(第 2 面)

②テレビ報道

平成 25(2013) 年 9 月

- 5 日：NHK「ネットワークニュース北海道」(18:47～1 分間程度)、NHK「ニュース北海道 845」(20:55～1 分間程度)

6 日：UHB「スーパーニュース」(18:44～2 分間程度)

(3) 平成 25(2013) 年 9 月 20 日 報道会見(第 3 回)

会場：発掘現場

内容：発掘調査の進行状況紹介

説明者

北海道大学総合博物館：小林快次准教授

むかわ町：櫻井和彦学芸員、西村智弘学芸員

参加者(報道機関 6 社・9 名)

新聞社：北海道新聞社、苫小牧民報社、朝日新聞社、室蘭民報社

テレビ局：NHK 日本放送協会札幌放送局

その他：共同通信社

①新聞記事

平成 25(2013) 年 9 月

- 21 日：北海道新聞(朝／第 29 面：苫小牧・日高面)、苫小牧民報(第 1 面)、室蘭民報(朝／第 1 面)
- 22 日：朝日新聞(朝／第 26 面：北海道面)

②テレビ報道

平成 25(2013) 年 9 月

- 20 日：NHK「ネットワークニュース北海道」(18:23～2 分間程度)

(4) 平成 26(2014) 年 1 月 21 日 報道会見(第 4 回)(資料送付 1 月 17 日)

会場：穂別博物館(特別展示室・かせき学習館)

内容：第一次発掘調査の成果説明

説明者

北海道大学総合博物館：小林快次准教授

むかわ町：木澤省司教育長、山岡康伸穂別総合支所長、櫻井和彦学芸員、西村智弘学芸員、下山正美学芸補助員

参加者(報道機関 9 社・11 名、ほか 10 名)

新聞社：北海道新聞社、苫小牧民報社、室蘭民報社、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社

テレビ局：NHK 日本放送協会札幌放送局、同・苫小牧報道室、HBC 北海道放送、UHB 北海道文化放送

その他：むかわ町情報サービス、むかわ町観光協会、その他役場職員等

①新聞記事

平成 26(2014) 年 1 月

- 18 日：読売新聞(朝／第 39 面：全国面)、苫小牧民報(第 1 面)、北海道新聞(朝／第 34 面：第

2 社会面)

22日：室蘭民報（朝／第1面、第11面：東胆振・日高面）、朝日新聞（朝／第31面：北海道面）、苫小牧民報（第1面）、北海道新聞（朝／第33面：第3社会面）、毎日新聞（朝／第23面：全国面）

24日：読売新聞（朝／第30面：北海道面）

②テレビ報道

平成26(2014)年1月

17日：NHK「おはよう日本」(7:43～1分間程度)、NHK「おはよう北海道」(7:47～2分間程度)

21日：HBC「今日ドキッ！」(17:02～2分間程度)、NHK「ネットワークニュース北海道」(18:21～3分間程度)

(5) 関連新聞記事

平成25(2013)年8月29日

北海道新聞「記者が提案 私のおすすめドライブコース⑥東胆振編」(朝／第25面：札幌圏)

平成25(2013)年8月31日

読売新聞（朝／第33面：道南面）発掘調査開始

平成25(2013)年10月

室蘭民報 特集「恐竜の里 穂別」(全5回 第1回：10月10日、第2回：11日、第3回：16日、第4回：17日、第5回：18日)

平成25(2013)年12月10日

北海道新聞 年末特集「回顧2013 ① 穂別で恐竜化石発見」(朝／第29面：苫小牧・日高面)

平成25(2013)年12月19日

苫小牧民報「この一年(4)」(第1面)

平成25(2013)年12月21日

北海道新聞「年末10大ニュース」(朝／第29面：苫小牧圏)

平成26(2014)年1月

1日：室蘭民報 正月特集

1日：苫小牧民報（第14面・第15面）

15日：北海道新聞（夕／第1面コラム「今日の話」）

22日：北海道新聞4コママンガ（夕／第11面）

(6) その他出版物

平成25(2013)年10月

広報むかわ No.91（発行：むかわ町）

むかわ議会だより No.21（発行：むかわ町議会）

平成25(2013)年12月

北海道大学博物館ニュース 第28号（発行：北海道大学総合博物館）「穂別での恐竜発掘」(小林快次)

化石をめぐるミステリー. 土屋健 著・群馬県立自然史博物館 監修, 子供の科学. 第77巻1号. p.12-21 (本発掘の紹介はp13). 誠文堂新光社.

【ゴードリセラス・ホベツエンゼ】

公表 平成25(2013)年4月16日（報道機関各社へプレスリリース資料を送付）

報道

①新聞・インターネット記事

平成25(2013)年4月

17日：読売新聞（朝／第34面：北海道面）、苫小牧民報（第2面：白老・胆振東部・日高面）

18日：北海道新聞（朝／第31面：第3社会面）

22日：朝日新聞（朝／第25面：北海道面）

26日：共同通信社の配信記事

goo ニュース、47News、日本経済新聞、河北新報、山形新聞、茨城新聞、静岡新聞、信濃毎日新聞、福井新聞、京都新聞、大阪日日新聞、四国新聞、高知新聞、山陽新聞、佐賀新聞、沖縄タイムス
その他、インターネット配信多数

平成25(2013)年6月

3日：苫小牧民報（第2面：白老・胆振東部・日高面）
普及講演会記事

②テレビ報道

平成25(2013)年4月

30日：NHK「昼のニュース」(1分間弱)

【フィロプチコセラス・ホリタイ】

報道会見 平成25(2013)年6月25日

会場：穂別町民センター2F つつじホール

説明者：西村智弘学芸員、堀田良幸（発見・寄贈者）

参加者

新聞社：苫小牧民報社、北海道新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、室蘭民報社

テレビ局：NHK日本放送協会、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送

その他：ほべつ総合サービス

報道

①新聞記事

平成25(2013)年7月

1日：北海道新聞（朝／第27面：第3社会面）、室蘭民報（朝／第1面）、朝日新聞（朝／第23面：北海道面）、読売新聞（朝／第33面：第1社会面）、苫小牧民報（第2面：白老・胆振東部・日高面）

共同通信配信配信（Web配信確認15社）（毎日新聞、河北新報、山形新聞、東京新聞、静岡新聞、京都新聞、大阪日日新聞、神戸新聞、新潟日報、福井新聞、西日本新聞、日本海新聞、愛媛新聞、佐賀新聞、47NEWS）

2日：室蘭民報（朝／第12面：東胆振・日高面）

発見者堀田良幸氏紹介

②テレビ報道

平成 25(2013) 年 7 月

1 日 : NHK、STV、HBC (各 1 分間弱)

【ロンギベルス・マツモトイ】

報道会見 平成 25(2013) 年 9 月 29 日

会場 : 穂別町民センター 2F つつじホール

説明者 : 西村智弘学芸員・中村剛瑠 (発見・寄贈者)

参加者

新聞社 : 苫小牧民報社、室蘭民報社、北海道新聞社、
朝日新聞社、毎日新聞社

テレビ局 : HBC 北海道放送

後日対応 : 読売新聞社

報道

①新聞記事

平成 25(2013) 年 9 月

29 日 : 苫小牧民報 (第 1 面)、千歳民報 (第 11 面 :
第 1 社会面)

30 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 31 面 : 苫小牧・日高面、
第 33 面 : 第 3 社会面)、朝日新聞 (朝 / 第 29 面 :
北海道面)

平成 25(2013) 年 10 月

4 日 : 毎日新聞社 (朝 / 第 24 面 : 北海道面)

19 日 : 読売新聞 (朝 / 第 33 面 : 道南面)

②テレビ報道

平成 25(2013) 年 9 月

29・30 日 : HBC ニュース (プレス発表紹介) (1 分
間弱 3 回放送)

平成 25(2013) 年 10 月

3 日 : HBC ニュース (展示紹介) (1 分間弱 1 回)

【その他報道・番組】

<新聞記事>

平成 25(2013) 年 5 月

13 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 2 面) ひと 2013 「西村
智弘さん アンモナイト新種を確認した穂別博
物館普及員」

平成 26(2014) 年 1 月

18 日 : 朝日新聞 (朝 / 第 2 面 : 北海道面) 知の達
人たち アンモナイトの進化探る むかわ町立
穂別博物館 西村智弘学芸員 (35) = 古生物学

<テレビ番組>

平成 25(2013) 年 10 月

19 日 : NHK 「伊藤英明 奇跡の海を潜る! ~インド
ネシア ラジャ・アンパット」 (19:30-21:30)

メソダーモケリス収蔵標本の紹介

【広告等掲載】

[北海道じゃらん] (リクルート北海道じゃらん)

平成 24(2012) 年 : 5 月号、8 月号

普及教育活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学生～高校生、大：一般

I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

【ミニ展示】

- (1) 「新種 白亜紀アンモナイト ゴードリセラス・ホベツエンゼ」

新種として記載されたゴードリセラス・ホベツエンゼの紹介。

会期：平成 25(2013) 年 4 月 27 日 -6 月 30 日

会場：穂別博物館 特別展示室

- (2) 「新種白亜紀異常巻きアンモナイト フィロプチコセラス・ホリタイ」

新種として記載されたフィロプチコセラス・ホリタイの紹介。

会期：平成 25(2013) 年 7 月 2 日 -9 月 29 日

会場：穂別博物館 特別展示室

- (3) 「発見!! 残りを発掘!!!! 穂別産ハドロサウルス科恐竜化石」

穂別産恐竜化石について紹介。好評につき、開催期間を延長した。

会期：①平成 25(2013) 年 7 月 17 日 -12 月 1 日

②平成 25(2013) 年 12 月 19 日 -平成 26

(2014) 年 4 月 6 日

会場：穂別博物館 特別展示室

- (4) 「白亜紀鞘形類ロンギベルス・マツモトイ」

新属として記載されたロンギベルス・マツモトイの穂別産標本の展示。

会期：平成 25(2013) 年 10 月 1 日 -12 月 1 日

会場：穂別博物館 特別展示室

【普及講演会】

- (1) 「アンモナイト」

日時：平成 25(2013) 年 6 月 2 日

講師：重田康成（国立科学博物館研究主幹）・西村智弘学芸員

会場：穂別町民センター 第1・第2会議室

参加者：21 人

- (2) 「新種アンモナイト フィロプチコセラス・ホリタイ」

日時：平成 25(2013) 年 8 月 31 日

講師：西村智弘（当館学芸員）

会場：穂別町民センター 第1・第2会議室

参加者：11 人

【化石採集会】

学芸員による展示案内の後、白亜紀の地層が露出している場所で化石を採集する。各回定員 20 名。事前申込・抽選で選出した。第1・3回は稲里シュッタの沢、第2は安住幌去川支流で実施した。

観覧料（「運営」を参照）と体験参加料（一人 100 円）を徴収。終了後に希望者を対象に自分で見つけた化石のクリーニング体験を実施した。（実施協力：穂別博物館協力会）

参加人数計：45 人

第1回＜平成 25(2013) 年 5 月 18 日＞（小7・大13）

第2回＜平成 25(2013) 年 5 月 25 日＞（小4・大9）

第3回＜平成 25(2013) 年 6 月 1 日＞（小5・大7）

【化石体験コーナー】

観覧料のみで以下のメニューを体験できる（「アンモナイト立体図鑑は有料）。それぞれのメニューを日替わりで実施した。各体験とも、会場は「かせき学習館」で、時間は 10:00-16:00（最終受付 15:30）。

<実施内容>

化石レプリカづくり：シリコン型に石こうを流し込み、アンモナイトのレプリカ（石こう模型）を作成する。

立体図鑑づくり：アンモナイトや穂別産脊椎動物化石などの石こう模型づくり。全 31 種類でオリジナル解説シートがもらえる。有料（1 個 100 円）で実施。

レプリカアクセサリーづくり：自由樹脂プラスチックを用いたアクセサリーの作成。アンモナイトストラップかサンダルアクセサリーのどちらかが作成できる。

<参加者数>

参加者総数：のべ 194 人。

化石レプリカづくり：130 人。

立体図鑑：計 51 個。

レプリカアクセサリーづくり：64 人。

<開催日程>

開催日数：5 日間

①化石レプリカづくり（3 日間）：平成 25(2013) 年 7 月 21 日、28 日、8 月 4 日。

②レプリカアクセサリーづくり（2 日間）：平成 25(2013) 年 8 月 11 日、18 日。

【ワークシート等】

来館者を対象に、博物館展示室に各種シートを設置。自由参加のため、数は確認していない。

- ①博物館探検シート：クイズ形式で、展示室の化石について学ぶ（全4枚）。
- ②ミニジオラマ（クビナガリュウの海）：着色・切り抜いて、自分で作成するジオラマの型紙。穂別の化石が題材。

II 運営協力等

【講師派遣】

(1)「化石・岩石 鑑定会」

日程：平成25(2013)11月16日
 主催：日高山脈博物館
 会場：日高山脈博物館（日高町）
 講師：西村智弘学芸員

(2)「丹波竜フェスタ2013」

日程：平成25(2013)11月23日
 主催：丹波市 産業経済部 恐竜を活かしたまちづくり課
 会場：山南住民センター（兵庫県丹波市）
 講師：櫻井和彦学芸員
 内容：研究者によるフォーラム「恐竜発掘最前線！」
 ・丹波竜の発掘：三枝春生（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）
 ・福井での発掘：宮田和周（福井県立恐竜博物館 主任研究員）
 ・穂別での発掘：櫻井和彦学芸員
 参加者：50人（丹波竜発掘関係者、地元住民）

【学会からの依頼対応】

(1) 日本古生物学会

①アンモナイト ゴードリセラス・ホベツエンゼ記載論文（英文）の和文解説作成

西村智弘，2013，北海道の白亜系マーストリヒチアン階最下部から見つかったゴードリセラス属アンモナイトの一新種とその生層序学的意義. 化石, 94号, p. 58-59,

②アンモナイト フィロプチコセラス・ホリタイ記載論文（英文）の和文解説作成

西村智弘，2014. 北海道の白亜系マーストリヒチアン階下部から見つかったフィロプチコセラス属（異常巻きアンモナイト）の1新種. 化石, 95号, p. 45-46（出版は2014年）

③日本古生物学会欧文誌 Paleontological Research 投稿論文の査読，西村学芸員（2012年11月-）

III 団体等の利用

館として対応したものは〈 〉内に内容を示した

III-1 町内団体等の利用

【町内学校・教育関係団体】

平成25(2013)年5月

22日 さくら保育園（幼24・大4）

29日 むかわ町教育研究会（理科・生活科）〈博物館・中村記念館見学〉（大10）

平成25(2013)年6月

11-13日 穂別高校インターンシップ（小1）

平成25(2013)年7月

18日 むかわ町教育委員会定例会視察〈展示見学〉（大7）

平成25(2013)年9月

27日 穂別小学校4年化石学習〈発掘現場見学・化石採集〉（小10・大2）

平成25(2013)年10月

2日 穂別小学校4年化石学習〈展示見学〉（小10・大2）

9日 穂別小学校4年化石学習〈化石クリーニング・レプリカづくり〉（小10・大2）

23日 穂別高校1年化石学習〈出前授業・展示見学・化石採集〉（小23・大2）

平成26(2014)年2月

13日 富内小学校1・2年（小2・大2）

【町内各種団体】

平成25(2013)年5月

24日 むかわ町新採用職員研修会（大8）

平成25(2013)年7月

23日 竹中喜之、三上純一、中島勲（むかわ町議会議員）〈展示見学〉（大3）

平成25(2013)年10月

19日 むかわ町観光協会（大24）

平成25(2013)年11月

11日 むかわ町地域協議会視察〈展示見学〉（大12）

16日 むかわ町観光協会〈展示見学〉（幼4・小4・大13）

23日 むかわ町体験プログラム評価会（大6）

平成26(2014)年3月

11日 JAほべつ 中国農業研究生〈展示見学〉（大13）

Ⅲ - 2 町外団体の利用

【町外学校・教育関係団体】

平成 25(2013) 年 5 月

18 日 恵庭市教育委員会子ども塾 (小 20 ・大 7)

平成 25(2013) 年 6 月

19 日 北海道長沼高校 (長沼町) <展示見学> (小 64・大 4)

平成 25(2013) 年 7 月

5 日 苫小牧市立清水小学校 (小 17・大 3)

10 日 日高町立日高小学校 1 年 (小 12・大 3)

平成 25(2013) 年 10 月

2 日 富川ひばり幼稚園 (日高町) 年長 (幼 48・大 3)

3 日 富川ひばり幼稚園 (日高町) 年中 (幼 39・大 3)

4 日 富川ひばり幼稚園 (日高町) 年少 (幼 50・大 3)

8 日 厚真町立厚真中央小学校 5 年 <展示見学> (小 27・大 2)

【町外各種団体】

平成 25(2013) 年 6 月

8 日 時習学園 (北広島市) (大 30)

13 日 苫小牧郷土史研究会 (苫小牧市) (研修会下見) <展示見学> (大 3)

21 日 苫小牧郷土史研究会 (苫小牧市) <展示見学> (大 11)

22 日 わんぱくチャレンジスクール (新ひだか町) (小 34・大 3)

平成 25(2013) 年 7 月

8 日 栄町クラブ (札幌市) (大 18)

11 日 旭川ねむの木の家 (旭川市) (大 38)

19 日 上士幌町受入協議会 (大 14)

19 日 小坂利政 (苫小牧広域森林組合代表理事組合長)、南哲行 (北海道大学特任教授)、野呂智之 (同特任准教授) ほか <展示見学> (大 5)

24 日 近畿日本ツーリスト (小 16・大 18)

25 日 近畿日本ツーリスト (小 7・大 9)

27 日 FEC 英語クラブ (札幌市) 大 7・小 40

30 日 若草老人クラブ若寿会 大 25

31 日 近畿日本ツーリスト 大 25・幼 2

平成 25(2013) 年 8 月

1 日 近畿日本ツーリスト (小 6・大 12)

2 日 近畿日本ツーリスト (幼 4・小 9・大 15)

6 日 緑小学童クラブ (小 47・大 7)

近畿日本ツーリスト (幼 1・小 10・大 10)

7 日 近畿日本ツーリスト (小 8・大 13)

8 日 近畿日本ツーリスト (小 3・大 3)

12 日 日の出児童館ふれあい学童クラブ (千歳市)

(小 28・大 5)

近畿日本ツーリスト (小 6・大 10)

大藤学童クラブ (小 45・大 10)

13 日 近畿日本ツーリスト (小 4・大 12)

14 日 近畿日本ツーリスト (小 3・大 5)

15 日 近畿日本ツーリスト (小 9・大 15)

16 日 近畿日本ツーリスト (小 2・大 4)

18 日 近畿日本ツーリスト (小 5・大 5)

21 日 近畿日本ツーリスト (幼 2・小 5・大 7)

22 日 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 6・大 12)

23 日 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 3・大 6)

平成 25(2013) 年 9 月

4 日 夕張市立夕張小学校 1 年 (小 41・大 5)

21 日 常山林業 (大 12)

平成 25(2013) 年 10 月

11 日 小樽青色申告会連合会 (小樽市) (大 11)

12 日 NPO 法人ナチュラルス (函館市) (小 11・大 3) タイ国 視察団 (大 9)

平成 25(2013) 年 11 月

15 日 東胆振商工会議所連合会 <展示見学> (大 20)

平成 26(2014) 年 3 月

21 日 木育ツアー <化石クリーニング見学>

Ⅳ その他視察等

平成 25(2013) 7 月

19 日 : G. Matyushkov (サハリン州立博物館副館長)、Y. P. Firsova (サハリン州立博物館局長)、水島未記 (北海道開拓記念館学芸員)、会田理人 (北海道開拓記念館学芸員)、通訳 <展示見学> (大 5)

平成 26(2014) 年 3 月

28 日 : 北海道大学総合博物館ボランティアほか <展示見学・情報交換> 大 9

Ⅴ 取材等の対応

平成 25(2013) 年 9 月

21 日 株式会社アズマックス (NHK 番組収録) <展示見学> (大 3)

平成 26(2014) 年 1 月

9 日 NHK-FM 取材対応 <展示見学> (大 5)

収蔵資料概要 (登録資料)

【自然史系登録資料 (HMG)】(地質・化石資料) 1,623 点
【自然系登録資料 (HMB)】(現生動植物資料) 167 点
【人文系登録資料 (HMC)】(民俗・歴史資料) 3,831 点 計 5,621 点 (2014. 3. 31. 現在)

【町指定文化財】 HMG-1 「ホベツアラキリュウ化石骨」: むかわ町指定文化財登録番号第 3 号

【模式標本等】

HMG-5 : *Mesodermochelys undulatus* Hirayama and Chitoku, 1996 の完模式標本 (新属新種)
HMG-12 : *Mosasaurus hobetsuensis* Suzuki, 1985 の完模式標本 (新種)
HMG-387 : *Kentriodon hobetsu* Ichishima, 1994 の完模式標本 (新種)
HMG-1056 : *Anomalochelys angulata* Hirayama et.al., 2001 の完模式標本 (新属新種)
HMG-1065 : *Mosasaurus prismaticus* Sakurai et.al., 1999 の完模式標本 (新種)
HMG-1573 : *Gaudryceras hobetsense* Shigeta and Nishimura, 2013 の完模式標本 (新種)
(副模式標本 : HMG-134、HMG-1592)
HMG- 1587a,b,c,d : *Phylloptychoceras horitai* Shigeta and Nishimura, 2013 の完模式標本・副模式標本 (新種)

資料収集保存活動

I 野外調査活動

【現地調査】 12 回 (恐竜化石発掘関連を除く)

うち、外部研究者 (研) と合同調査 : 1 回

4 月 : 19、23

5 月 : 10、16

6 月 : 3 (研)、21、28

7 月 : 4

10 月 : 30

11 月 : 14、20、21

2013-013 : アンモナイト *Diplomoceras* sp. / 1 / 大和治生 (札幌市)

2013-014 : アンモナイト *Puzosia subcorbarica* / 1 / 堀田良幸 (むかわ町穂別)

2013-015 : アンモナイト *Diplomoceras* sp. / 1 / 谷村拓海 (むかわ町穂別)

2013-016 : ウミガメ化石 / 1 / 西村智弘 (穂別博物館)

2013-017 : 長頸竜 HMG357 肋骨レプリカ / 8 / 佐藤たまき (東京学芸大学)

【自然系資料】 (0 件・0 点)

【人文系資料】 (0 件・0 点)

II 新規受入資料

【その他】 (0 件・0 点)

II - 1 寄贈

受入番号 : 寄贈資料 / 点数 / 寄贈者名 (敬称略)

II - 2 採集

【自然史系資料】 (8 件・15 点)

2013-001 : アンモナイト (パキディスクス未定種) / 1 / 松田敏昭 (札幌市)

2013-002 : ウミユリ (連結標本) / 1 / 小棚木幸子 (釧路市)

2013-011 : 翼竜遠別標本 (HMG-1052) レプリカ / 1 / 小林快次 (北海道大学)

【自然史系資料】 (2 件・500 点)

2013-018 : 穂別産恐竜化石 (HMG-1219 追加資料) / 150

2013-019 : 穂別産恐竜化石共産化石 (二枚貝・巻貝・アンモナイトなど) / 350

【自然系資料】 (0 件・0 点)

【人文系資料】(0件・0点)

Ⅱ - 3 移管

【自然史系資料】(1件・55点)

2013-012 : クビナガリュウ化石、アンモナイト、ノ
ジュールなど / 55 / 旧稲里小中学校より移管

Ⅱ - 4 その他(未受入資料)

受入時の記録なしのため新規受入

【自然史系資料】(9件・9点)

2013-003 : ドリオピテクス (KNM-SO 700) レプリカ
 / 1

2013-004 : ラマピテクス (KNM-FT46) レプリカ / 1

2013-005 : オーストラロピテクス (OH5) レプリカ /
1

2013-006 : オーストラロピテクス (OH16) レプリカ
 / 1

2013-007 : ホモ・エレクトス (OH9) レプリカ / 1

2013-008 : ホモ・サピエンス レプリカ / 1

2013-009 : ホモ・サピエンス (1714 Hyrax Hill No.1)
レプリカ / 1

2013-010 : 珪化木 / 1

2013-020 : 砂岩 / 1

Ⅲ 新規登録資料

登録番号 : 資料名 / 受入番号 / 寄贈(採集)者名(敬称略)

【自然史系資料 (HMG)】(化石・地質) : 13点

HMG-1625 : アンモナイト *Diplomoceras* sp. / 2007-
007 / 高橋博志

HMG-1627 : ドリオピテクス (KNM-SO 700) レプリ
カ / 2013-003 / 展示標本

HMG-1628 : ラマピテクス (KNM-FT46) レプリカ /
2013-004 / 展示標本

HMG-1629 : オーストラロピテクス (OH5) レプリカ
 / 2013-005 / 展示標本

HMG-1630 : オーストラロピテクス (OH16) レプリカ
 / 2013-006 / 展示標本

HMG-1631 : ホモ・エレクトス (OH9) レプリカ /
2013-007 / 展示標本

HMG-1632 : ホモ・サピエンスレプリカ / 2013-008 /
展示標本

HMG-1633 : ホモ・サピエンス (1714 Hyrax Hill No.1)
レプリカ : 2013-009 / 展示標本

HMG-1634 : 珪化木 / 2013-010 / 受入時の記録なし

HMG-1635 : *Notopocorystes japonicus* / 1982-018 / 荒
木 新太郎

HMG-1636 : 翼竜遠別標本 (HMG-1052) レプリカ /
2013-011 / 小林快次

HMG-1637 : HMG-357 (肋骨) レプリカ / 2013-017 /
佐藤たまき

HMG-1638 : 函淵層 砂岩 / 2013-020 / 受入時の記録
なし

【自然系資料 (HMB)】(現生生物) : 0点

【人文系資料 (HMC)】(生活・歴史等) : 0点

Ⅳ 収蔵資料の活用(研究)

【調査・観察】

[自然史系資料 (HMG)]

デスモスチルス穂別標本 (HMG-343)・共産化石 : 松
井久美子・唐沢與希(京都大学大学院) / 資料調査
<平成25(2013)年8月31日-9月1日>

[人文系資料 (HMC)]

HMC-0866 (鉄槍) : 高島孝宗(オホーツクミュージア
ムえさし)・田代雄介(むかわ町教育委員会) / 収
蔵資料調査<平成25(2013)年11月26日>

穂別D遺跡遺物 (V-15-91 棍棒型石器、V-16-94 棍棒
型石器) : 松井昭(厚真町教育委員会)・田代雄介(む
かわ町教育委員会) / 資料調査<平成25(2013)年
12月21日>

穂別D遺跡遺物 (V-15-91 棍棒型石器、V-16-94 棍棒
型石器) : 松井昭(厚真町教育委員会) / 資料調査
<平成26(2014)年1月9日>

HMC-0866 (鉄槍) : 田代雄介(むかわ町教育委員会)
 / CT撮影調査<平成26(2014)年1月16日>

HMC-0866 (鉄槍) : 田代雄介(むかわ町教育委員会)
 / 蛍光X線分析用試料の採取<平成26(2014)年2
月13日>

穂別D遺跡遺物 (V-10-41 石槍、V-17-103 砥石、
V-17-104 砥石 : 3点)、丸のみ型石斧(コンテナ
No.4 収蔵・未登録資料) : 奈良智法・松井昭(厚真
町教育委員会) / 資料調査<平成26(2014)年2月
28日>

【貸出(研究)】

[自然史系資料 (HMG)]

HMG-366、HMG-367、HMG-1053、HMG-1054、
HMG-1055 (ウミガメ化石5点) : 平山廉(早稲田大
学) <平成6(1994)年8月17日-平成26(2014)年

3月31日>

HMG-1063、HMG-1064 (ウミガメ化石2点): 平山廉博士 (早稲田大学) <平成7(1995)年5月11日 - 平成26(2014)年3月31日>

HMG-1443、HMG-1444 (カサガイ付きアンモナイト2点): 加瀬友喜 (国立科学博物館) <平成21(2009)年7月9日 - 平成26(2014)年3月31日>

HMG-0014、HMG-0016、2011-004 (アンモナイト3点): 重田康成 (国立科学博物館) <平成23(2011)年6月1日 - 平成25(2013)年5月31日>

HMG-0399 (アンモナイト1点): 前田晴良 (京都大学) <平成23(2011)年10月17日 - 平成26(2014)年3月31日>

HMG-0357 (長頸竜化石1点): 佐藤たまき (東京学芸大学) <平成23(2011)年11月25日 - 平成26(2014)年3月31日>

HMG-1052 (翼竜化石遠別標本)、HMG-1083 (翼竜デラウェア標本レプリカ): 小林快次 (北海道大学総合博物館) <平成25(2013)年6月30日 - 平成25(2013)年7月19日>

[人文系資料 (HMC)]

穂別D遺跡遺物 (資料番号V-15-91 棍棒型石器、V-16-94 棍棒型石器: 2点): 松井昭 (厚真町教育委員会) <平成26年(2014)年1月8日 - 平成26年(2014)年2月28日>

HMC-0888 (鉄刀)・HMC-0892 (鉄刀): 田代雄介 (むかわ町教育委員会) <平成26(2014)年3月28日 - >

V 収蔵資料の活用 (研究以外)

【貸出 (展示)】

[自然史系資料 (HMG)]

HMG-842 (アンモナイト)・HMG-883 (イノセラムス)

計2点: 穂別地球体験館 <平成7(1995)年4月1日 - 平成26(2014)年3月31日>

HMB-2、3、4、7、9、11、12、17、19、21、22、25、26、29、30、40、41、43、98、99 (剥製標本20点): むかわ町立穂別小学校 <平成7(1995)年4月1日 - 平成26(2014)年3月31日>

HMB-36、HMB-47 (剥製標本2点)、HMC-2797、HMC-2798、HMC-2799、HMC-2821 (ジオラマ4点)

計6点: むかわ町立穂別小学校 <平成8(1996)年6月14日 - 平成26(2014)年3月31日>

HMG-1123 (ケントリオドン・ホベツ HMG-387 頭骨レプリカ)、HMG-1521 (デスモスチルス穂別標本

HMG-343 下顎骨レプリカ) 計2点: 沼田町化石館 <平成25(2013)年7月18日 - 平成25(2013)年9月12日>

HMC-61 (石斧)、HMC-63 (石斧) 計2点: 田代雄介 (むかわ町教育委員会) <平成26年(2014)年1月29日 - 平成26(2014)年3月28日>

[その他]

展示ケース (1台): 田代雄介 (むかわ町教育委員会) <平成25(2013)年5月21日 - 平成26(2014)年3月28日>

【写真提供等 (出版・報道等)】

ティロサウルス生体復元模型写真: ベネッセコーポレーション刊「こどもちゃれんじすてっぷ ふしぎ はっけんえほん9月号」(2013年9月1日発行)

博物館展示室の写真: 成美堂出版「トラベルスタイル 北海道2015」(2014年4月発行予定)

恐竜化石発掘調査状況等の写真: 誠文堂新光社「子供の科学」第77巻1号 (2013年12月10日発行)

恐竜化石発掘調査状況の写真: ポプラ社「図鑑 WONDA」(2014年発行予定)

VI その他収蔵資料管理

かせき学習館収蔵庫の人文資料 (林業関係) の移設 (旧和泉小学校へ) <平成25(2013)年8月6日>

人文系登録資料 (鉄製品) の収納木箱の作成 (18点): 田代雄介 (むかわ町教育委員会) <平成26(2014)年2月13日>

I 調査研究活動

【穂別産恐竜化石発掘調査】

平成 15(2003)年に堀田良幸(穂別在住)によって発見され当館に寄贈された脊椎動物化石は、佐藤たまき准教授(東京学芸大学)の指摘を受けて、平成 23(2011)年に小林快次准教授(北海道大学総合博物館)によって、穂別地区で初めての恐竜化石であることが判明した。調査地は道有林の保安林(土砂流出防止保安林)に指定されていたため、関係機関との事前協議や申請手続きを経て、本年 9 月に第一次発掘が実施された。

1. 発掘期間

平成 25(2013)年 9 月 2 日～10 月 5 日(作業日 28 日間)

2. 発掘体制・参加人数

(1) 発掘体制：当館と北海道大学総合博物館による合同調査

①むかわ町立穂別博物館：櫻井和彦学芸員、西村智弘学芸員、下山正美学芸補助員、上村幸司学芸補助員(計 4 名)。

②北海道大学総合博物館：小林快次准教授、大学院生 5 名、学部生 4 名、博物館ボランティア 4 名
その他教官・職員等 5 名(計 20 名)。

③委託業者：重機操縦士 1 名

(2) 参加人数

一日当たり 8～12 人ほど(日によって変動)。のべ 268 人。

3. 採集資料等

(1) 採集標本数：500 点

内訳

①恐竜化石：150 点(重複あり、整理中)

②その他の化石：350 点(アンモナイト、二枚貝、巻貝、その他)

(2) 石膏ジャケット

①発掘現場にて作成した石膏ジャケット：25 個

②回収できた石膏ジャケット：21 個

4. 報道会見(詳細は「広報活動」を参照)

①第 1 回 平成 25 年(2013)年 7 月 17 日
参加者 報道機関 11 社・12 名、他 1 名

②第 2 回 平成 25 年(2013)年 9 月 5 日
参加者 報道機関 11 社・17 名、他 1 名

③第 3 回 平成 25 年(2013)年 9 月 20 日
参加者 報道機関 6 社・9 名

④第 4 回 平成 26(2014)年 1 月 21 日
参加者 報道機関 9 社・11 名、他 10 名

計 69 名

5. 現地視察等(報道公開以外)

(1) 現地視察

① 2013 年 8 月 6 日 むかわ町議会委員会視察(9 名)

② 2013 年 9 月 11 日：むかわ町役場等視察(11 名)

③ 2013 年 9 月 19 日：むかわ町議会視察(17 名)

④ 2013 年 9 月 23 日：衆議院議員・道議会議員視察(12 名)

⑤ 2013 年 9 月 24 日：北海道胆振総合振興局長視察(12 名)

⑥ 2013 年 10 月 1 日：北海道胆振総合振興局地域政策部長視察(6 名)

⑦ 2013 年 10 月 4 日：北海道森林組合連合会(13 名)

計 7 件・80 名

(2) 学校教育等の見学

① 2013 年 9 月 27 日 むかわ町穂別小学校 4 年生(12 名)

計 1 件・12 名

6. 申請行為

道有林の保安林内で発掘調査を行うために、北海道知事に対し、むかわ町長名にて以下の申請手続きを行った。

(1) 保安林内作業許可申請

4 月 9 日：申請／5 月 14 日：許可

(2) 保安林内立木伐採届

4 月 9 日：申請／5 月 10 日：受理

(3) 第二種普通財産貸付申請

4 月 9 日：申請／6 月 3 日：許可

7. 作業行為

(1) 立木調査：平成 25(2013)年 4 月 23 日

(2) 施業道補修業務：平成 25(2013)年 6 月 22 日～7 月 1 日

(3) 伐採業務：平成 25(2013)年 8 月 17 日～8 月 20 日(伐採木の撤去：平成 26 年(2014)年 1 月 30 日)

(4) 発掘調査：平成 25(2013)年 9 月 2 日～10 月 5 日

【研究者等の来館】(穂別産恐竜化石発掘調査以外)

平成 25(2013)年 5 月

10 日：林昭次(大阪市立自然史博物館学芸員) <化石研究：骨組織>

24 日～31 日：重田康成(国立科学博物館研究主幹) <化石研究：アンモナイト>

平成 25(2013)年 6 月

29 日：安藤匠平(北海道大学理学部) <資料借用：>

翼竜化石>

平成 25(2013) 年 7 月

18 日: 篠原暁 (沼田町化石館館長) <資料借用>

19 日: 安藤匠平 (北海道大学理学部) <貸出資料返却>

28 日: 平山廉 (早稲田大学教授)・高橋達弥 (旭川在住、当館協力者) <展示資料観察、発掘現場視察>

平成 25(2013) 年 8 月

31 日-9 月 1 日: 松井久美子・唐沢與希 (京都大学大学院) <収蔵資料調査: デスモスチルス穂別標本ほか>

平成 25(2013) 年 9 月

3 日: 篠原暁 (沼田町化石館) <貸出資料の返却>

4 日: 澤村寛 (足寄動物化石博物館館長) <展示資料観察>

4 日: 本山功 (山形大学准教授) <展示資料観察>

平成 25(2013) 年 11 月

26 日: 高島孝宗 (オホーツクミュージアムえさし館長) <収蔵資料調査: 鉄槍 HMC-866 >

平成 25(2013) 年 12 月

21 日: 松井昭 (厚真町教育委員会) <収蔵資料調査: 穂別 D 遺跡遺物>

平成 26(2014) 年 1 月

9 日: 松井昭 (厚真町教育委員会) <収蔵資料調査: 穂別 D 遺跡遺物>

平成 26(2014) 年 2 月

28 日: 奈良智法・松井昭 (厚真町教育委員会) <収蔵資料調査: 穂別 D 遺跡遺物>

II 論文発表

(1) 新種の白亜紀アンモナイト ゴードリセラス・ホベツエンゼ発表 (西村学芸員共同研究・英文、日本古生物学会誌 *Paleontological Research*) Yasunari Shigeta and Tomohiro Nishimura, A new species of *Gaudryceras* (Ammonoidea, Gaudryceratidae) from the lowest Maastrichtian of Hokkaido, Japan and its biostratigraphic implications. *Paleontological Research*, vol. 17, no. 1, p.47-57. 2013

(2) 新種の白亜紀アンモナイト フィロプチコセラス・ホリタイ発表 (西村学芸員共同研究・英文、日本古生物学会誌 *Paleontological Research*) Yasunari Shigeta and Tomohiro Nishimura, A new species of the heteromorph ammonoid *Phylloptychoceras* from the lowest Maastrichtian of Hokkaido, Japan. *Paleontological Research*, vol. 17, no. 2, p.173-178. 2013

(3) 白亜紀鞘形類新属ロンギベルス発表 (西村学芸員共同研究・英文、英国古生物学会誌 *Paleontology*) Dirk Fuchs, Yasuhiro Iba, Christina Ifrim, Tomohiro Nishimura, Jim Kennedy, Helmut Kuepp, Wolfgang Stinnesberck and Kazushige Tanabe, *Longibelus* n. gen., a new Cretaceous coleoid genus linking Belemnoidea and early Decabrachia. *Palaeontology*, vol. 56, no. 5, p. 1081-1106, 2013.

III 学会発表

(1) モササウルス穂別博第 10 標本の産出報告: 小西卓哉, Caldwell, M. W., 西村智弘, 櫻井和彦, 田上響 (共同研究・口頭発表), 第 4 回国際モササウルスミーティング (アメリカ), 平成 25(2013) 年 5 月 23 日. Takuya Konishi, Michael W. Caldwell, Tomohiro Nishimura, Kazuhiko Sakurai, and Kyo Tanoue, A New Xxxx (Mosasauridae: Xxxx) material from northern Japan. 4th International Mosasaur Meeting, Perot Museum of Nature and Science and the Dallas Paleontological Society.

(Xxxx: 種類が特定されるため論文公表まで伏字とする)

(2) 北海道から新たに見つかった上部白亜系カンパニアン階大型化石群: 重田康成、伊豆倉正隆、西村智弘 (共同研究・口頭発表), 日本古生物学会 2013 年年会 (熊本大学), 平成 25(2013) 年 6 月 29 日

(3) 北海道むかわ町穂別の上部白亜系函淵層から発見されたハドロサウルス科恐竜化石発見の報告: 小林快次 (北海道大学総合博物館)・西村智弘・櫻井和彦 (むかわ町立穂別博物館)・千葉謙太郎 (トロント大学)・田中康平 (カルガリー大学)・佐藤たまき (東京学芸大学) (共同研究・口頭発表), 日本古生物学会第 163 回例会 (会場 兵庫県立人と自然の博物館), 平成 26 年 (2014) 年 1 月 25 日 <発表者 西村智弘学芸員>

IV 学会・大会・研修会等への参加

【博物館協会等の大会・研修会等】

<北海道博物館協会>

(欠席)

<日胆地区博物館等連絡協議会>

館長会議及び拡大役員会 (苫小牧市)

平成 25 年 2 月 5 日: 櫻井学芸員出席 (事務局)

<ミュージアムマネジメント学会>
(欠席)

V 協力団体との連携

【穂別博物館協力会】

学習用地水洗：6月15日（4名参加）
穂別小学校4年生化石学習補助：6月22日（2名参加）
化石採集会（第2回）補助：6月23日（2名参加）
化石採集会（第4回）補助：9月29日（4名参加）
穂別高校1年生化石学習補助：10月18日（2名参加）
寄贈資料：1件・30点

【千歳化石会】

野外調査：1回（4月29日）
寄贈資料：1件・1点

I 行事等

【博物館協議会】

平成 26(2014) 年 3 月 20 日：6 名出席

【文化財審議会】

平成 25(2013) 年 8 月 9 日：第 1 回文化財審議会「恐竜化石の発見報告」

平成 26(2014) 年 1 月 17 日：第 3 回文化財審議会「恐竜化石の発掘成果報告」

【協力】

＜関係課・団体等との打ち合わせ会議＞

平成 26(2014) 年 3 月 26 日 「打ち合わせ会議」

次年度の第二次発掘および恐竜化石に関して当館で企画している普及事業について関係者間での情報の共有を図るため、「穂別恐竜第二次発掘調査に向けた関係課・団体等との打ち合わせ会議」が開催された。当館が起案し、むかわ町役場地域振興課企画管理グループ、同地域経済課産業グループ、むかわ町穂別地球体験館、むかわ町観光協会の担当者が出席した。

【交流人口拡大事業（協力）】

＜ドラ割「夕張・むかわ・占冠 立ち寄りパス」＞

ネクスコ東日本による、ETC 搭載の普通車・軽自動車限定サービス。事前申込により、指定範囲内の高速道路インターチェンジで乗り降りしても直通料金で利用でき、合わせて近隣市町村内の各施設・商店にて優待が受けられる。当館は入館料の減額を行った。

実施期間：平成 25(2013) 年 6 月 7 日～10 月 28 日の土・日・祝日などの対象期間。

＜3 施設パスポート券＞

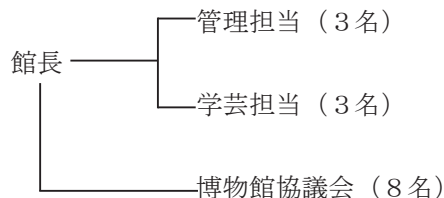
むかわ町 4 施設共同利用協議会による、町内 3 施設（穂別地球体験館、穂別博物館、樹海温泉はくあ）の共通パスポート券の発行。むかわ町内への交流人口の誘導と各施設の宣伝、利用者の新たな掘り起こしを図ることが目的。当館は入館料の減額を行った。

実施期間：平成 25(2013) 年 5 月 10 日～7 月 20 日、8 月 20 日～11 月 24 日。

＜ロックンロード 274＞

樹海ロード広域連携協議会（事務局：夕張市）による、国道 274 号沿いの 4 市町村（夕張市、むかわ町、占冠村、日高町）内の各施設・商店にて優待を受けられるリストバンドの製作・販売。交流人口の拡大が目的。当館は入館料の減額で対応した。

II 組 織



【博物館協議会委員】＜平成 25(2013) 年度＞

任期：平成 24(2012) 年 8 月 1 日 - 平成 26(2014) 年 7 月 31 日

- 会 長 梅津讓一
- 副会長 鎌田政博
- 委 員 内海由紀江
- 委 員 高橋義道
- 委 員 只野繁
- 委 員 山田正
- 委 員 三浦令子

【博物館職員】＜平成 25(2013) 年度＞

- ＜館 長＞ 阿部 勉
- ＜管理担当＞
 - 主 査 石黒和徳
 - 臨時職員 早瀬千佳
 - 臨時職員 多村こゆる
- ＜学芸担当＞
 - 学芸員 櫻井和彦
 - 学芸員（嘱託職員） 西村智弘
 - 学芸補助員（臨時職員） 下山正美
 - 学芸補助員（臨時職員） 上村幸司（10/1～）

III 刊行物

【むかわ町立穂別博物館館報】

ISSN 1882-5230
 第 30 号：平成 24(2012) 年度版
 17 頁、平成 26(2014) 年 3 月発行

Ⅲ 利用状況

【常設展示観覧者】

平成 25(2013) 年 4 月～平成 26(2014) 年 3 月

月	一般	学生	小計	幼児	合計	開館日
4	380	158	538	115	653	26
5	1,235	524	1,759	209	1,968	25
6	422	204	626	57	683	26
7	1,067	416	1,483	209	1,692	31
8	1,914	1,125	3,039	420	3,459	31
9	760	252	1,012	160	1,172	23
10	687	237	924	206	1,130	26
11	393	129	522	111	633	25
12	59	19	78	22	100	24
1	48	7	55	12	67	21
2	43	15	58	16	74	23
3	166	47	213	46	259	26
計	7,174	3,133	10,307	1,583	11,890	307

(単位：人・日)

【博物館特定入館日】

[博物館開館記念日関連事業]

7月20日の開館記念日に関連して、平成25(2013)年7月16日(火)～7月22日(月)の7日間を町民無料入館の日とした。

[国際博物館の日]

国際博物館会議(イコム、ICOM)のモスクワ大会(1977年)にて制定され、日本では平成14年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」(5月18日)の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

[博物館特定入館日に伴う町民無料入館]

一般：高校生より上、学生：小学生～高校生

実施日	行事名	一般	学生	計
12.5.18	国際博物館の日	1	1	2
7.16-22	博物館開館記念日	11	2	13
9.16	敬老の日	9	4	13
11.3	文化の日	3	1	4
11.23	勤労感謝の日	4	2	6
13.1.14	成人の日	0	0	0
計	12日	28	10	38

(単位：人)

【学校週五日制関連事業】

<町内児童生徒に対する入館料減免>

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせて、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。

平成25年度の利用者数：131人(個人見学のみ)

Ⅳ 歳入

区 分		有料入館者数	使用料
一般	個人	4,430	1,233
	団体	544	103
	割引	2,200	440
学生	個人	1,674	146
	団体	562	28
	割引	897	45
小 計		10,307	1,889
緒収入	物品販売代		20
	体験学習料		9
小 計			29
合 計			1,918

(単位：人・千円)

Ⅴ 歳出

費 目	金 額
報 酬	2,156
共 済 費	716
賃 金	3,739
報 償 費	100
旅 費	70
需 用 費	6,178
役 務 費	270
委 託 料	5,055
使用料及び賃借料	922
負担金補助及び交付金	35
工 事 費	3,340
備 品 購 入 費	659
博 物 館 費 合 計	23,240

(単位：千円)

VI 利用案内

【開館時間】

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】

- ・毎週月曜日。
- ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日および日曜日に当たるときは月曜日とし、月曜日が国民の祝日又はその翌日に当たるときは火曜日及び水曜日とする。
- ・12月31日-1月5日。
- * 7、8月は無休。

【観覧料】

	一般	学生
個人	300円	100円
団体	200円	50円
割引	100円	無料

一般：高校生より上

学生：小学生・中学生・高校生

幼児（未就学児童）は無料（要大人の付添い）

団体：10人以上

割引：穂別地球体験館（体験館）との共通利用割引（両施設を見学する場合の割引制度。体験館に先に入館した場合、この料金が適用される。当館を先に入館した場合は通常料金で、体験館の入館料が割引される。）

【減免】

「（むかわ町立）博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（むかわ町立博物館設置条例、第4条）」が「（むかわ町）教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる（同条例、第5号）」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町立博物館施行規則第4条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

（教育目的）

1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合。

（研究目的）

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合。

（福祉目的）

3) 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第15条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

4) 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第19条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

（公益目的）

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合。

むかわ町立穂別博物館館報

第31号

平成25（2013）年度版

発行 2014年11月

発行者 むかわ町立穂別博物館

〒054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別80番地の6

TEL/FAX (0145) 45-3141